

# 第 1 回 姫路市経済有識者会議

令和 8 年（2026年） 2 月 6 日

姫路市 観光経済局, 政策局

# 第 1 回 姫路市経済有識者会議 議事次第

---

1 姫路市経済有識者会議 概要

2 各計画の進行スケジュール

3 各計画の説明

- 経済振興ビジョン
- 観光戦略プラン
- 国際戦略

4 複数計画にまたがる項目

# 姫路市経済有識者会議 概要（1 / 2）

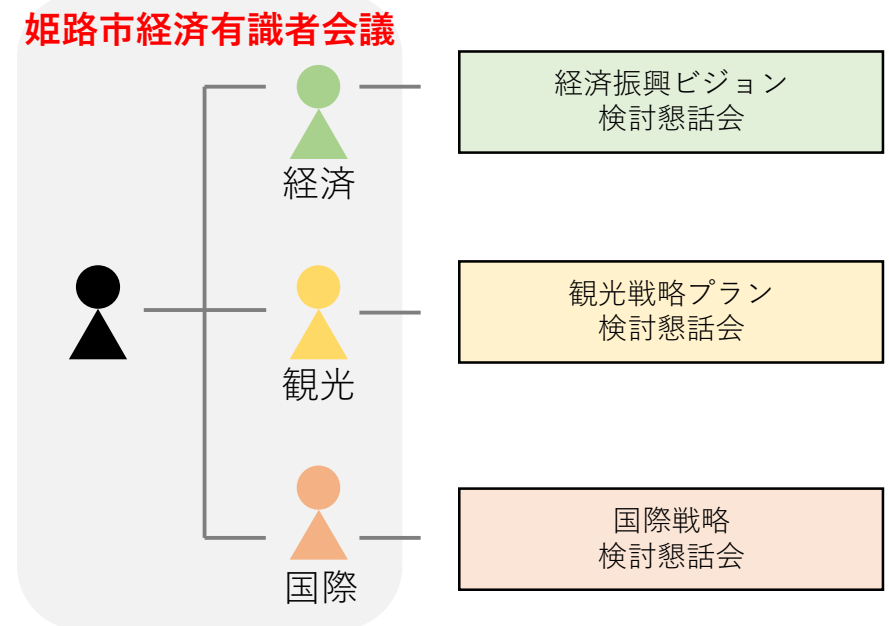
- R9に改定/策定予定の「経済振興ビジョン」「観光戦略プラン」及び「国際戦略」の3つの分野別計画において、横串を通すことを目的とする。

## 設置経緯

隣接する分野である3計画について、どちらの領域かあいまいな項目についても漏れなく拾い上げ、横串の通った計画とするために連携を図る目的で設置。

## 位置付け

- 経済振興ビジョン、観光戦略プラン、国際戦略プランを**統括する会議体**。
- 姫路市より各計画の進捗を報告し、**意見やフィードバックを頂戴**する。
- 各委員は本会議での協議事項を所管計画の**検討懇話会へ共有**し、**計画へ反映**させる。



# 姫路市経済有識者会議 概要（2 / 2）

## 開催スケジュール

令和9年3月までに3回程度を想定

## メンバー

(座長)	高坂 誠	: 兵庫県立大学学長
(委員) 経済分野…	畑 豊	: 兵庫県立大学副学長 兼 社会価値創造機構長
	長尾 真	: 姫路商工会議所副会頭 (神姫バス代表取締役社長)
観光分野…	加納 郁也	: 兵庫県立大学副学長
国際分野…	高坂 誠	: 兵庫県立大学学長 (座長と兼務)

(事務局) 姫路市 … 各計画を所管する部署の部長級が参画  
経済振興ビジョン…商工労働部長, 観光戦略プラン…観光コンベンション室長,  
国際戦略…市長室長

### 第1回

R8年2月

- 3つの計画の関連性
- 改定の進め方
- 各計画の大枠の説明

→課題整理

### 第2回 (案)

R8年7月頃

- 進捗報告 (骨子等)
- 各委員によるフリーディスカッション

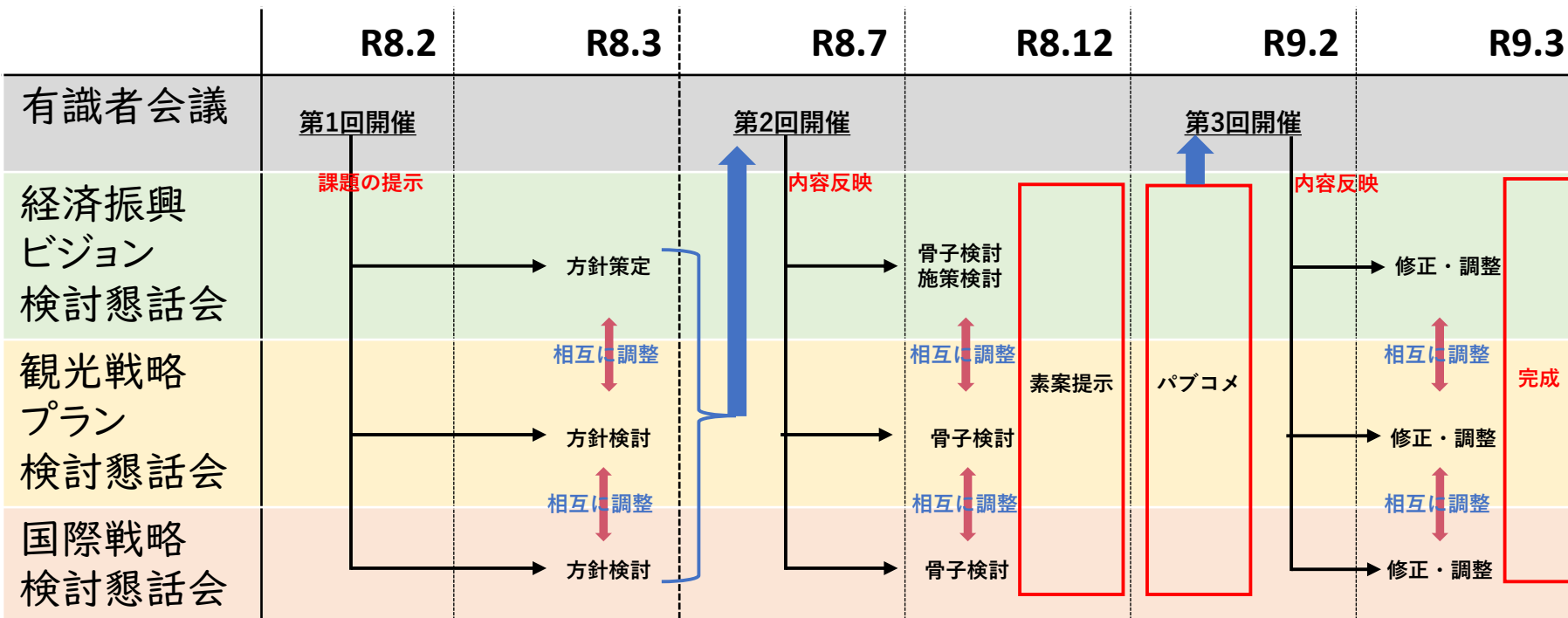
### 第3回 (案)

R9年2月頃

- 最終報告
- 3つの計画の総括

# 各計画の進行スケジュール

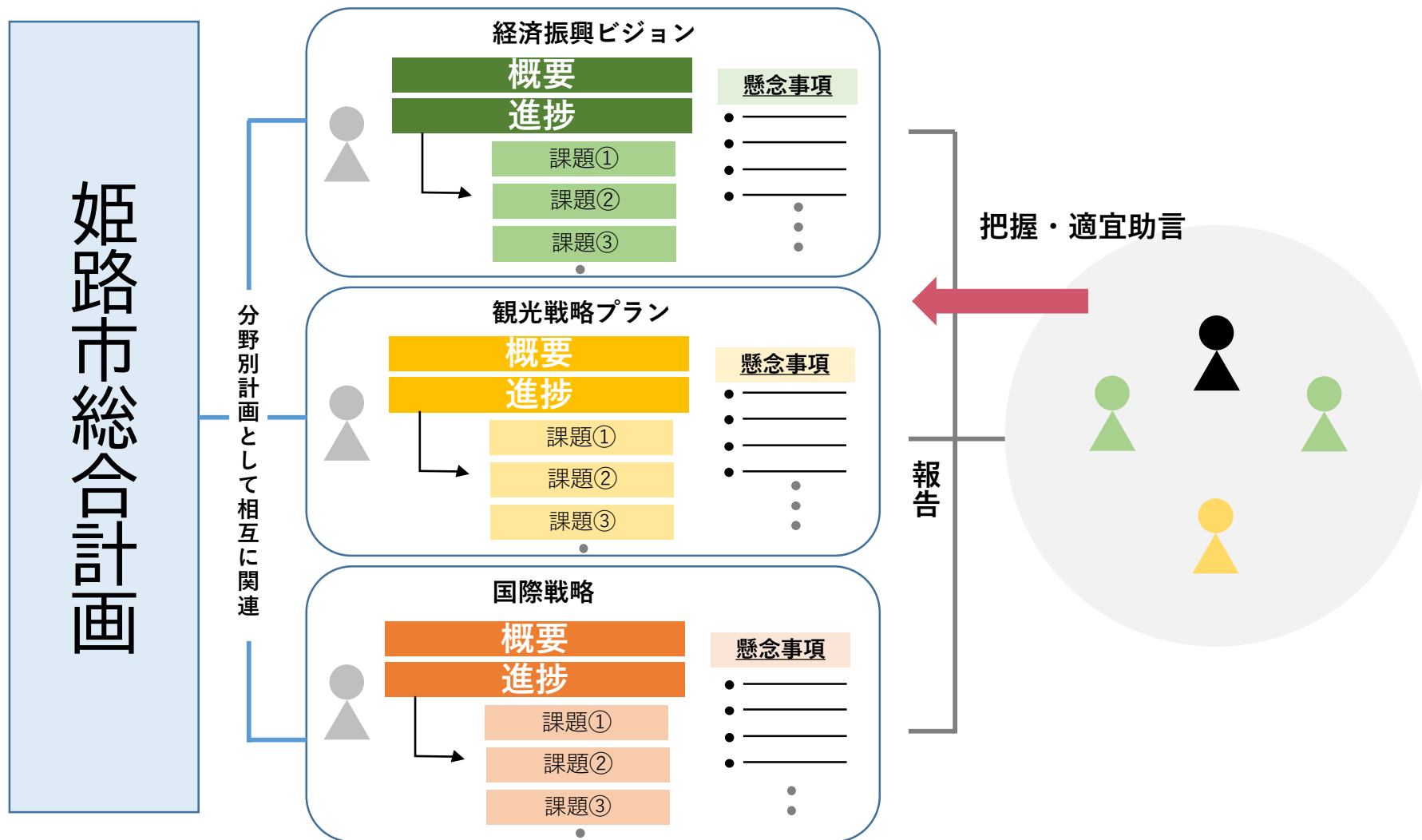
- R9年3月に完成
- 第1回姫路市経済有識者会議を踏まえ、各計画の検討懇話会にて内容を決定していく。
- いずれの計画もおおむね進行は同一。



※各懇話会は適宜開催

# 各計画の説明

- 各計画の概要・進捗、現時点での課題を説明。
- 複数計画にまたがる項目を提示、どの計画で取り扱うべきか仕分け。



# 各計画の説明 ー経済振興ビジョン

## 姫路市経済振興ビジョン

姫路経済の成長と持続的な発展を目指し、成長への道筋を実現・実行するものとして今後取り組む戦略、施策を体系付けて整理した計画。

人口減少下においても地域資源を活かし持続可能な経済成長を目指す。

### 現行計画の概要・進捗

- 平成21年12月に「姫路市経済振興ビジョン」を策定。以降経済動向を適宜反映させたビジョンへ改定を重ね現在に至る。
- 現行ビジョンは令和3年3月に改定。分析を基に、姫路市が経済振興に取り組むための基本方針、今後重視する視点を定め、基本方針に基づく政策と施策を実施。前回ビジョン(H27年度～R2年度)はものづくり戦略として製造業の振興に力点を置いたビジョンであったが、現行ビジョンはコロナ禍によりダメージを受けた地域経済の振興や、ポストコロナにおける成長力強化を見据えたデジタル改革等幅広い分野の経済成長に取り組むための計画と位置付けている。

### 基本方針・重視する視点・政策

<基本方針> 世界に誇れる価値を生む地域産業の確立

<重視する視点> ①IoTとデジタルトランスフォーメーション  
②多様な人材が活躍する労働環境  
③メイドイン姫路

<政策> ①先端技術を活用したものづくり産業の革新と成長産業の参入促進  
②地域に根差す中小企業・地場産業の安定的な経営基盤の確立  
③地域経済の発展を支える企業集積の推進と物流・交流機能の充実  
④産業人材の確保・育成と時代に合わせた労働環境づくり  
⑤地域経済に新たな活力を生む創業支援

計画概要図、KPI推移は別紙をご参照ください

### 当該分野にかかる課題

#### 課題① 産業の構造転換への対応に遅れ

- IT導入、DX実装に遅れ
  - 姫路市製造業企業の5割がデジタル化が「進んだ/やや進んだ」一方、残り5割は「あまり進んでいない/全く進んでいない」と回答
- 企業間連携の不足
  - 外部の企業・団体等との連携を進めている事業所の方が業績が良い傾向がみられるが、連携していると回答した割合は26%程度

#### 課題② 人材確保・技能承継

- 若者流出・人手不足
  - 姫路市では、全年代のうち20代の転出超過が突出して大きい。女性労働力は増加しているが女性管理職割合が低く、若者や女性雇用に課題
- デジタル人材の不足
  - デジタルの担当者が居ないと回答した企業は3割(商工会議所アンケート)

#### 課題③ 知名度・ブランド発信力

- 観光者の滞在時間や消費額の低さ
  - 宿泊客のうち、市内宿泊率は39.1%。平均消費額は2万円(観光動向調査)
- 販路拡大・海外展開ノウハウ等の不足
  - 「ものづくりに必要な支援策」として”受発注先の紹介”や”販路拡大支援”、“成長分野進出支援”等が挙げられている(商工会議所アンケート)

# 各計画の説明 ー観光戦略プラン

## 姫路市観光戦略プラン

姫路観光コンベンションビューローと連携し、持続可能な観光地域づくりを推進する中、今後取り組む施策を体系付けて整理した計画。同ビューローが策定する「観光地域づくり法人形成・確立計画」や「観光地マスタープラン」とも連携。

10年先の姫路の観光のあるべき姿を見据え、本市のブランド力や国際的な知名度の向上を図ることで、都市間競争を勝ち抜き、「世界から選ばれるまち HIMEJI」を目指す。

### 現行計画の概要・進捗

- 平成19年に「姫路市観光交流推進計画」を策定。以降、観光動向を適宜反映させたプランへ改定を重ね現在に至る。
- 現行プランは令和4年3月に改定。本市の観光の現状と取り巻く動向の分析を基に、姫路の観光の将来像とその実現に向けた戦略を定めるとともに、プランに基づく施策を展開。コロナの影響をはじめ、本市の観光を取り巻く環境の変化を十分に踏まえたプランに改定し、交流人口の拡大による経済循環を高め、地域活性化に資する計画と位置付ける。

### 将来像・戦略・効果

<姫路の観光の将来像>

「観光を通して、にぎわいと感動にあふれるまち 姫路」

<将来像を実現するための戦略>

- ①観光コンテンツの磨き上げによる魅力向上
- ②観光客のニーズを踏まえた受入環境の整備
- ③効果的なプロモーションによる誘客推進
- ④国際会議観光都市・MICE都市の推進
- ⑤観光を活かした産業振興・地域づくりの推進

<プラン推進による効果>

- ①地域資源の価値創出と持続的保全
- ②地域経済の活性化と雇用創出
- ③市民の誇りの醸成とまちの魅力・機能の向上
- ④国内外の異文化交流による国際親善・平和貢献

計画概要図、KPI推移は別紙をご参照ください

### 当該分野にかかる課題

#### 課題① 稼ぐ観光の実現に向けたコンテンツ戦略の展開

- ・ 宿泊や滞在を促すための時間軸やエリアの拡大
- ・ 姫路域以外の観光コンテンツの更なる磨き上げ・プロモーション
- ・ 着地型体験コンテンツの高付加価値化

#### 課題② インバウンド需要の取り込みと受入環境の高度化

- ・ 「点」から「面」への回遊性と消費機会の創出
- ・ 多様な文化・ニーズへの「質の高い」対応
- ・ オーバーツーリズムの未然防止と地域共生

#### 課題③ MICE誘致・開催の促進

- ・ MICE誘致・開催による市内事業者への効果の波及
- ・ 姫路ならではのユニークベニューの活用
- ・ ワンストップ支援体制の更なる充実

#### 課題④ 国際交流・姉妹城提携を活用した誘客プロモーション

- ・ 国際交流・姉妹城提携による具体的な集客アクション

#### その他課題

- ・ デジタルマーケティング、人材育成

# 各計画の説明 ー国際戦略

## 姫路市国際戦略

国内外及び本市における社会経済情勢の変化を踏まえ、本市国際化をより戦略的に展開していくため、今後取り組む国際化推進施策の基本となる方針を定めるもの。

本戦略に基づき、多様な主体と連携して本市の国際化を推進し、世界の人や企業に選ばれる都市を構築する。

### 現行計画の概要・進捗

- 平成9年に「姫路市国際化推進大綱」を策定。平成29年に名称を改めて「姫路市国際化推進プラン」を策定。その後、外国人住民の増加や構成の変化、国の外国人受入施策の拡大、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、本市国際化を取り巻く環境の変化を踏まえて令和4年に改定、現在に至る。
- 現行プラン（R4年度～R8年度）は、本市の国際化推進施策を総合的かつ体系的に推進するための指針であり、また、市民、企業、教育機関などの国際化を推進する主体の行動指針として位置付けている。

### 基本理念・基本目標・施策の柱

<基本理念> 「多文化共生社会の実現」「国際交流の推進」

<基本目標> ①多様性（ダイバーシティ）を尊重する意識づくり  
②包摂性（インクルージョン）のある暮らしやすい社会の構築  
③様々な国際交流による相乗（シナジー）効果の創出

<施策の柱> ①互いに尊重し合える地域社会の形成  
多様性のある場の提供  
②多様なニーズに対応した生活基盤の整備  
人材の育成と活躍促進  
誰もが活躍できる機会の提供  
③国際観光コンベンション都市の推進  
地域産業の活性化  
多様な国際交流の推進

### 当該分野にかかる課題

#### 課題① インバウンドや在住外国人の増加に伴う地域の負担増大

- 外国人受入環境・体制の整備不足
- 地域コミュニティにおける文化・生活習慣の違いによる摩擦

#### 課題② 人口減少やグローバル化等の社会構造の変化への対応の遅れ

- 人手、人材の不足
- 若者の低い海外志向

#### 課題③ 国際競争力の脆弱性

- 都市ブランドイメージの希薄さ
- 姫路の強み・魅力を世界に伝える発信力の不足

## 複数計画にまたがる項目

トピック	項目	詳細を記載する計画
企業	企業の外国人材の受け入れ(制度・環境整備)	経済
	地域企業の海外展開	経済
	地域産品の海外販路開拓	経済
インバウンド	観光関連産業の成長に伴う雇用創出	観光
	国際交流の活発化によるインバウンド観光の受入体制強化	観光
	インバウンド受入体制強化による経済効果の拡大	観光
MICE	MICE推進による地域経済の活性化	観光
	国際会議の受入・実施体制の確保, 誘致	観光
都市の魅力向上	都市のブランド力強化による経済効果の拡大	経済
	海外に向けた効果的な都市プロモーション	国際
その他	グローバル人材育成・確保	国際
	観光DXの推進	観光
	観光消費額の更なる向上	観光